

No. 17	平成30年度 「地域子育て活動支援事業」 実施の内容
団 体 名	公益社団法人水沢青年会議所
事 業 名	サマーチャレンジ2018
実 施 期 間	平成30年4月～平成30年9月
事 業 実 績	<p>【事業概要】</p> <p>奥州市内の小学4～6年生を対象に、3泊4日かけて約50Kmの道のりを歩く。行く先々で豊かな自然、歴史、文化に触れ、様々な体験をしながら人と人のつながりを感じ、ふるさと奥州市を違った角度から見つめなおし、奥州市への郷土愛を育む事業。</p> <p>参加者数:小学生27名</p> <p>1日目 約7km徒歩 若柳小学校出発 → 胆沢愛宕地区センターに宿泊</p> <p>2日目 約15km徒歩 胆沢愛宕地区センター → 胆沢ダム → 北股地区センターに宿泊</p> <p>3日目 約9km徒歩 北股地区センター → 衣川ふるさと自然塾にてBBQ、花火をして宿泊</p> <p>4日目 約18km徒歩 衣川ふるさと自然塾 → 駒形神社</p>
実 施 効 果 自 己 評 価	<p>【実施効果】</p> <p>子どもたちが日常では体験できない様々な人間関係や実体験を通じて、「生きる力」を育み、コミュニケーション能力の向上や社会性の醸成という効果があった。</p> <p>3年続いたルートから大幅にルートを変更し、カヌー体験など新たな奥州市の魅力を発見することが出来た。</p> <p>ハッピーBOXという取り組みを行い、自分がしてもらって嬉しかったことを毎日一言書いて投稿することで、些細な事でも他人を思いやり、何かをしてあげること感謝の心が芽生えるということ意識してもらえたと思う。また、それを全員の前で発表することで、また誰かのためにしてあげようという想いが生まれた。</p> <p>行く先々で地域の人と触れ合い、豊かな自然、文化に触れる機会を用意し、改めて奥州市への理解・関心を深め、参加する子供たちの郷土に対する思いを醸成し、将来の街づくりを担う人材の育成につながる事業となった。</p> <p>【自己評価】</p> <p>参加者アンケートから「歩くのが大変だった」が48%であったが、その中でも「仲間を思いやり、考えて行動できた」の「よくできた。まあまあできた」が100%であり、つらい状況の中でも協力して行動する心が育まれたのではないかな。</p> <p>「あきらめずに頑張った」という回答も97%であり、みんなで一緒に完歩できたという達成感から、あきらめない心の醸成を図ることができた。</p> <p>また、市内を歩き、カヌーや星座観察等を探検することで、「普段感じることのできない奥州市の魅力を感じることができた。」という回答が100%であり、郷土愛について育むことができたと評価します。</p> <p>今回新たな取り組みとして、小学生の時に参加経験のある中学生のボランティアを募り、女子6名、男子1名と一緒に完歩した。リーダーシップを発揮することで次世代の奥州市を担う人材の育成につながればと考える。</p>